

気候変動による水災害リスクの増大に備える「流域治水」

## 「最上川流域治水プロジェクト」を推進します！

最上川では地域の特性・生業を踏まえた農業や雪対策と連携した対策を進めています



流域治水プロジェクトの詳細についてはこちらをご覧ください。



### 本パンフレットの内容に関するお問い合わせ先

事務局

東北地方整備局 山形河川国道事務所 流域治水課

〒990-9580 山形市成沢西4丁目3番55号

TEL023-688-8933

山形県 県土整備部 河川課

〒990-8570 山形市松波2丁目8番1号

TEL023-630-2615

最上川流域治水協議会 <https://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/river/tisui/>

令和5年4月発行

令和4年8月出水を踏まえた

# 最上川上流(置賜地域)

## 緊急治水対策プロジェクト



川西町高山(令和4年8月4日撮影)

令和4年12月5日策定

最上川流域治水協議会

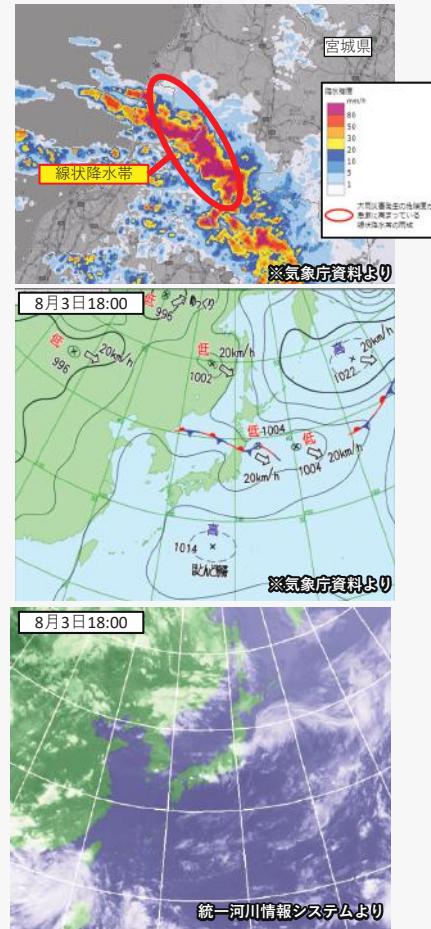
# 令和4年8月出水(前線)の概要

## 県内各地で記録的な大雨を記録

前線及び低気圧の影響により線状降水帯が発生し、山形県を中心に非常に激しい雨となり、**24時間雨量が多いところで474mm**を記録しました。

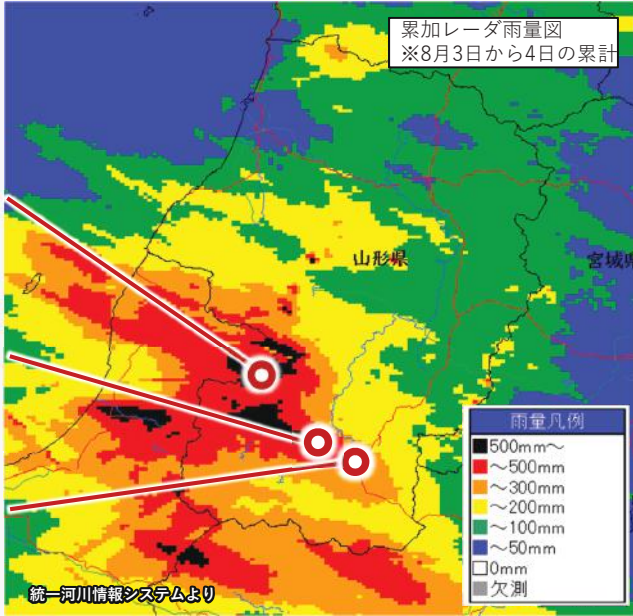
- ◇ 樺 (つばき) 雨量観測所 24時間雨量 474mm (観測史上第1位)
- ◇ 深沢 (ふかさわ) 雨量観測所 24時間雨量 409mm (観測史上第1位)
- ◇ 米沢 (よねざわ) 雨量観測所 24時間雨量 262mm (観測史上第1位)

※速報値のため、今後変更となる場合があります。



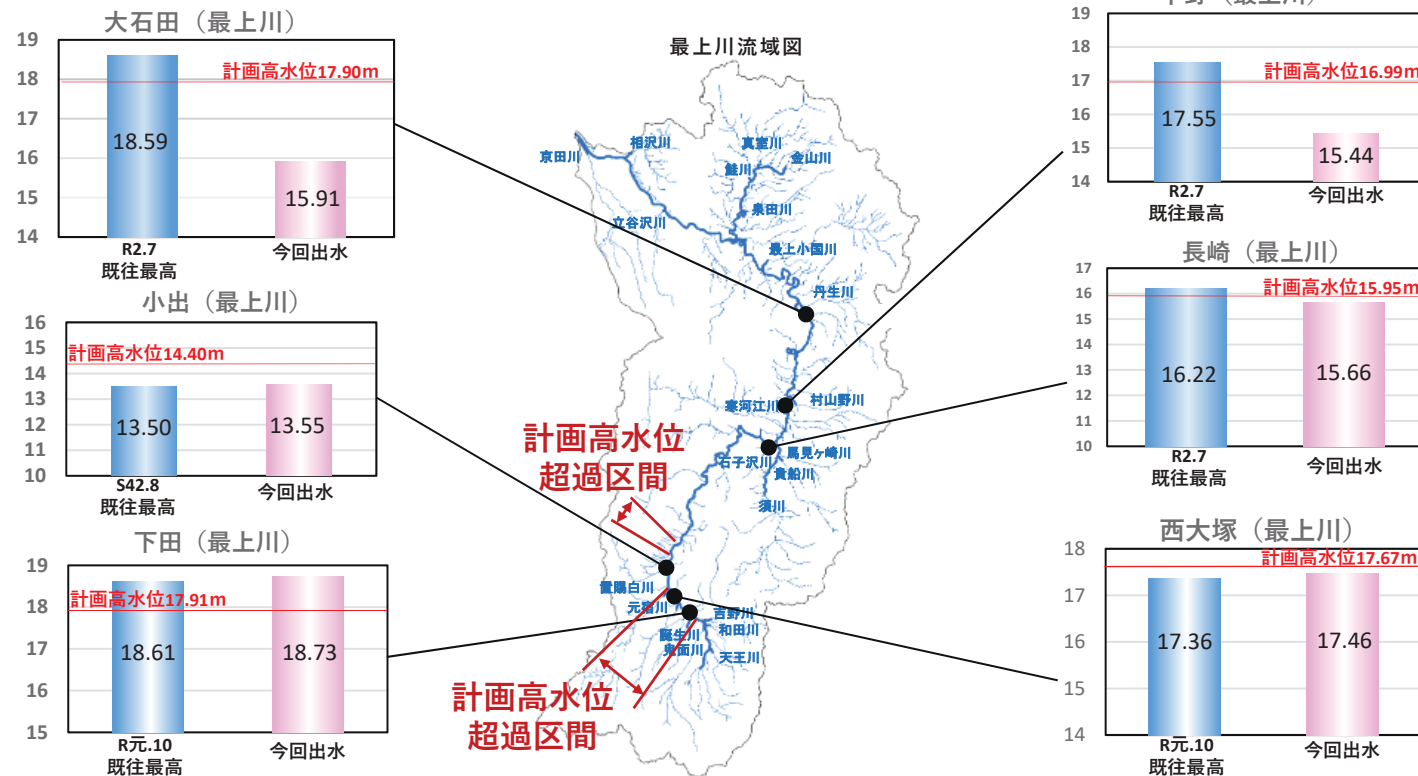
## 主な雨量観測所の累加雨量(24時間雨量)

- ふかさわ
  - ・ 深沢雨量観測所 累加雨量 409mm (国土交通省)
- つばき
  - ・ 樺雨量観測所 累加雨量 474mm (国土交通省)
- よねざわ
  - ・ 米沢雨量観測所 累加雨量 262mm (国土交通省)



## 主要な3つの水位観測所で既往最高水位を更新

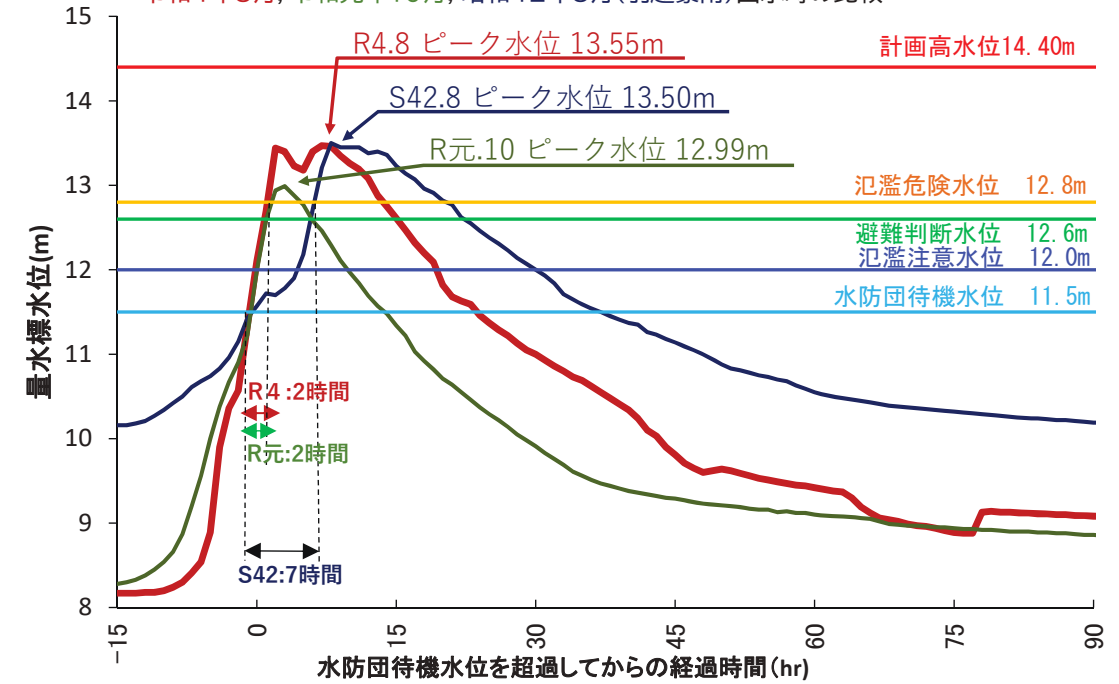
最上川の主要な3つの水位観測所で既往最高水位を更新。また、川西町、南陽市、白鷹町の沿川約8kmにわたって計画高水位を超過し、堤防がいつ決壊してもおかしくない大変危険な状況となりました。



# 令和4年8月出水時の急激な水位上昇

長井市にある小出水位観測所における、近年の出水(令和4年8月、令和元年10月)と昭和42年8月(羽越豪雨)の水位を比較したところ、水防団待機水位から氾濫危険水位までの経過時間は、昭和42年8月(羽越豪雨)の約7時間と比較して、令和4年8月及び、令和元年10月は約2時間と短く、水位の上昇速度が早くなっていることが確認できる。

小出水位観測所 水防団待機水位から氾濫危険水位までの経過時間  
令和4年8月、令和元年10月、昭和42年8月(羽越豪雨)出水時の比較



## 令和4年8月出水(前線)による最上川上流の出水・被害概要

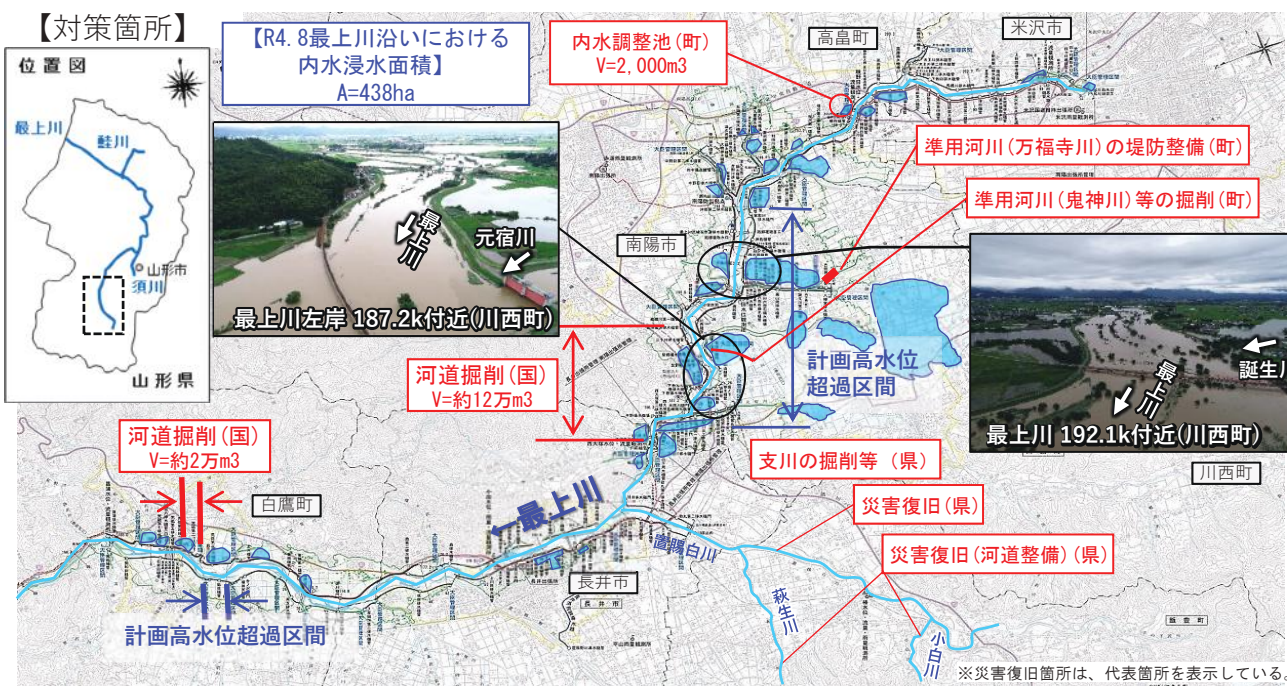
- **国管理区間**では、堤防からの越水が1箇所(長井市河井山地区)、溢水が4箇所(米沢市上新田地区、大江町百目木地区、河北町溝延地区押切地区)が発生しました。
- **県管理区間**では、溢水が5箇所(誕生川[米沢市広幡町上小菅]、元宿川[川西町西大塚]、小白川[飯豊町小白川]、萩生川[飯豊町萩生]、市の沢川[大江町左沢])が発生しました。



# 「最上川上流(置賜地域)緊急治水対策プロジェクト」 ～地域特性を踏まえた河川整備と農業や土地利用・住まい方と連携した治水対策の推進～

令和4年8月出水により最上川上流部で甚大な被害が発生したことから、再度災害防止のための「最上川上流(置賜地域)緊急治水対策プロジェクト」を策定し、対策に着手します。

- 事業期間 令和4年度～令和7年度
- 事業費 約102億円【国:約21億円、県:約81億円】
- 目標 令和4年8月出水と同規模の洪水を安全に流下させ、内水等の浸水被害の軽減を図る。



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
  - 河川区域での対策
    - ・災害復旧※、白鷹地区・川西南陽地区で河道掘削を実施【国】 ※最上川上流の全域を対象
    - ・災害復旧、河道掘削等【県】
  - 集水域での対策
    - ・内水調整池の整備【高島町】
    - ・準用河川の堤防整備及び河道掘削【川西町】
    - ・田んぼダムの推進【長井市他】
- 被害対象を減少させるための対策**
  - 氾濫域での対策
    - ・立地適正化計画の作成及び立地適正化計画に基づく安全な場所への居住誘導等【高島町】
- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
  - 氾濫域での対策
    - ・避難確保計画作成支援【米沢市他】
    - ・まるごとまちごとハザードマップの促進、マイ・タイムラインの普及促進【長井市他】
    - ・防災ラジオの普及、災害情報ツールの多重化【南陽市他】

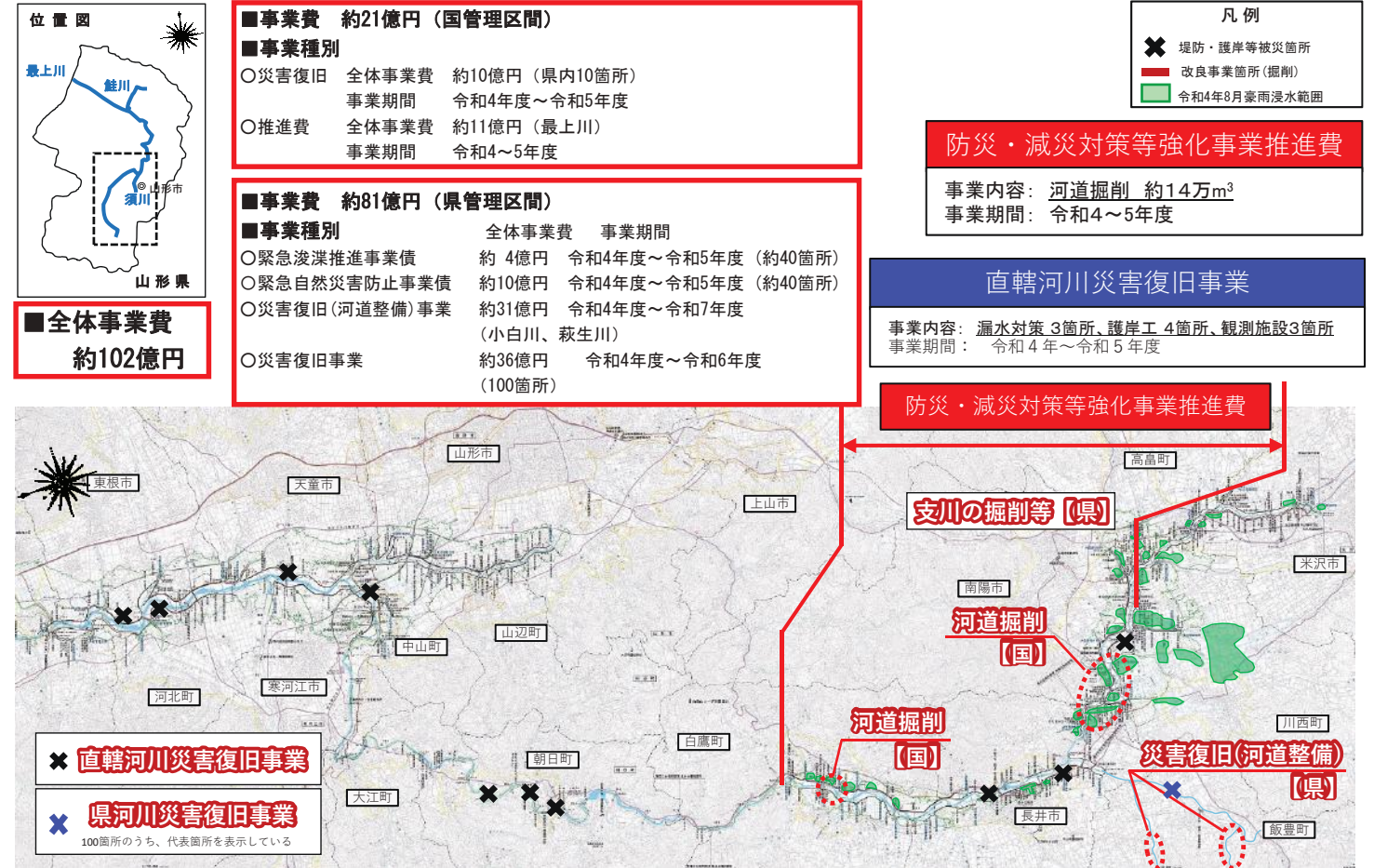
## <事業スケジュール>

緊急治水対策(R7年度まで)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削(国)		約14万m <sup>3</sup> 完了	
	河道掘削等(県)		浸水箇所、支川の掘削完了	
	災害復旧(国) ※最上川上流の全域を対象		災害復旧完了	
	災害復旧・河道整備(県)			
被害対象を減少させるための対策	内水調整池、準用河川の堤防整備等(町)			
	立地適正化計画の作成による安全な場所への居住誘導等(高島町)		計画作成(R4)	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化			
	水害リスク情報の充実と復旧			

※具体的な対策内容やスケジュールについては、今後の調査・検討等により変更となる場合があります

# 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 【河川区域での対策】

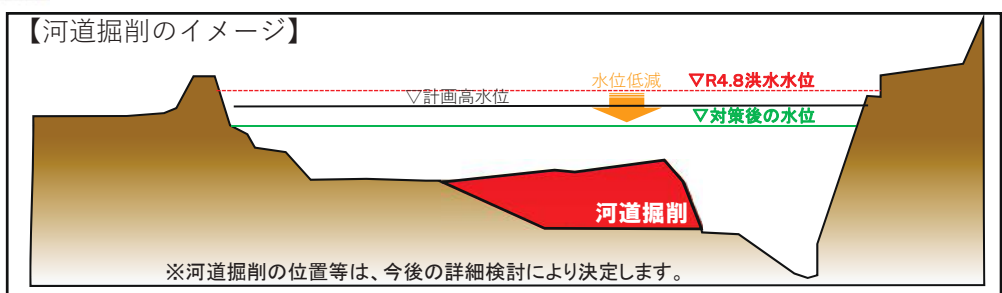
○令和4年8月出水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、再度災害防止対策へ向けた事業に着手。



# 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 【白鷹町・川西町・南陽市】

河道掘削(国)

○最上川本川の河川水位を低下させるため、西置賜郡白鷹町鮎貝地先～南陽市梨郷地先で約14万m<sup>3</sup>の「河道掘削」及び「樹木伐採」を実施。



# 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

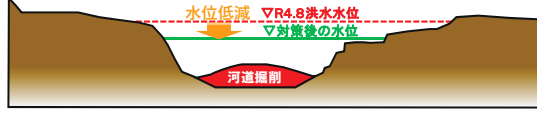
【飯豊町・川西町 他】

## 最上川の支川における対策（県）

### 河道掘削等

1. 目的
  - ・支川の河川水位を低下させるため、河道掘削を実施。
  - ・出水による堆積土砂を撤去し、流下能力を確保する。
2. 取組
  - 置賜白川や元宿川など、県が管理する支川の河道掘削等を実施する。
  - 事業期間：令和4年度～令和5年度

【河道掘削のイメージ】



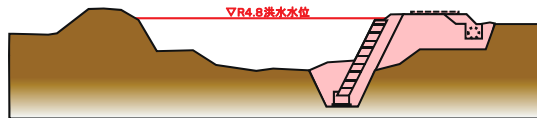
※河道掘削の位置等は、今後の詳細検討により決定します。



### 災害復旧

1. 目的
  - 豪雨に伴い被災した河川管理施設（護岸、護床など）の早期復旧を図る。
2. 取組
  - 犬川や置賜白川など、県が管理する支川において、災害復旧を実施する。
  - 事業期間：令和4年度～令和6年度

【災害復旧のイメージ】



# 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【飯豊町】

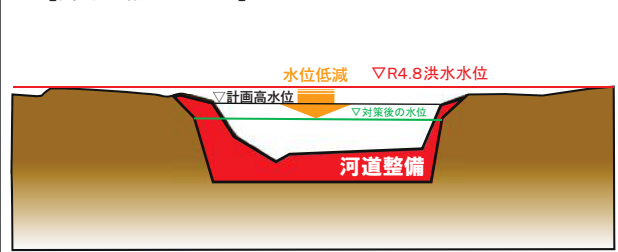
## 最上川の支川における対策（県）

### 災害復旧(河道整備)

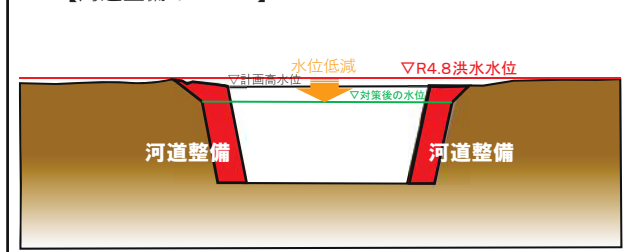
- 原形復旧のみでは事業効果が限定されることから、河道拡幅や河床掘削等の災害復旧（河道整備）を行うことで流下能力を向上させ、再度災害防止を図る。
- 事業期間：令和4年度～令和7年度



【河道整備イメージ】



【河道整備イメージ】



# 被害対象を減少させるための対策

## 災害リスクを考慮した立地適正化計画による居住誘導 等

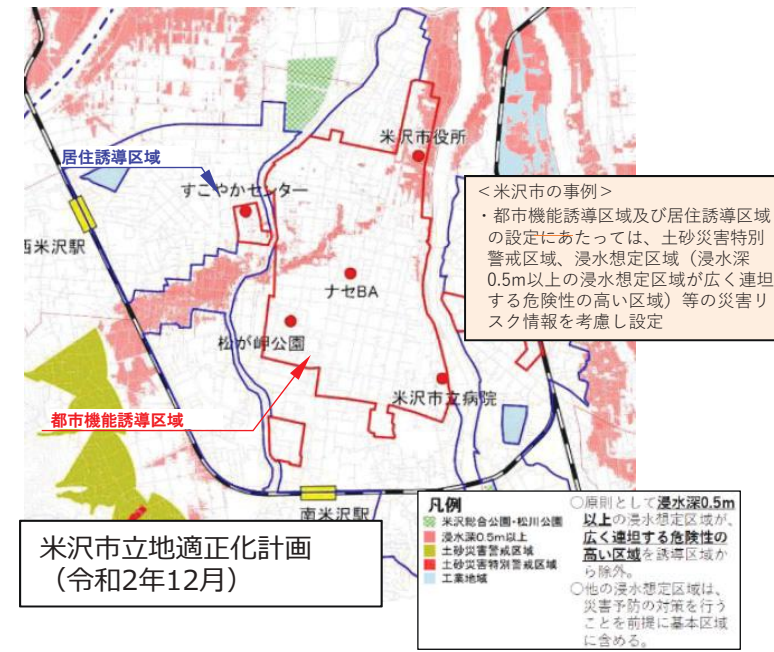
- 立地適正化計画の作成を進め、浸水エリア等の災害リスクを踏まえた都市機能誘導区域・居住誘導区域の設定により、災害に強く持続可能なまちづくりを目指す。（高島町）
- 災害リスクのある地域においては、避難指示等による立退き非難の徹底を図る。

### <災害リスク情報を活用した誘導区域の設定>

- ・浸水範囲、浸水深、浸水到達時間等により検討
- ・避難所までの距離から避難時間を想定し、避難可能であるか等についても検討

### <避難指示にあたってのソフト対策>

- ・豪雨等による浸水等のおそれがある場合は、防災ラジオやエリアメール、広報車などによる避難指示を行う。



### <居住誘導区域外の区域での対応>

- ・居住誘導区域外の区域では、特定開発行為の届出にあわせてリスク情報を再周知、必要なアドバイスを検討

※具体的な対策内容については、関係機関で調整中であり、変更となる場合がある。

# 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

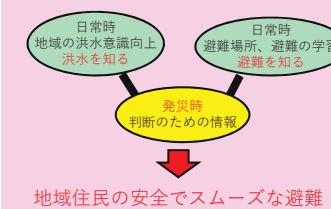
## まるごとまちごとハザードマップ

1. 目的
  - まるごとまちごとハザードマップとは、実際に洪水ハザードマップの情報を、まちなかに表示するもので、浸水エリア、浸水の深さ、避難所までのルート把握し、想定浸水深プレートを設置することで、地域住民の防災意識を高めるものです。
2. 効果
  - 避難経路を示すことで、迅速な避難行動へつながることが期待できます。
  - 過去の洪水時の実績浸水深を掲示することで、過去の被害の記憶を風化させないことが期待されます。

### 「まるごとまちごとハザードマップ」の取り組み事例



### 地域住民へ防災意識の啓発



## マイ・タイムライン

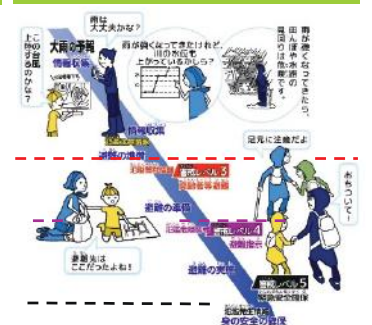
1. 目的
  - マイ・タイムラインとは、住民一人ひとりのタイムライン（防災行動計画）であり、台風等の接近によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめるものです。
2. 効果
  - 時間的な制約が厳しい洪水発生時に、行動のチェックリストとして活用することで、逃げ遅れゼロが期待されます。

### マイ・タイムライン講習会 実施状況



出水の課題を受けたタイムラインの改善・流域自治体との洪水対応演習・講習会

### 避難のポイント



マイタイムラインを作成

マイ・タイムライン作成ツール「逃げキッド」